

単元名：マット運動

「連続技に挑戦しよう！」

(全 10 時間扱い中 第 6 時)

授業日時 2021 年 8 月 31 日 (火) 第 5 校時

授業学級 1 年 A 組

授業会場 体育館

授 業 者

指 導 者

(1) 主眼 (授業の手立て & ねらい)

(○○の子ども達が) ○○の場で、○○を通して、○○を□□することができる／できるようになる。

一通りの技に挑戦してできないを把握した子どもたちが、3 個か 4 個の連続技の構成に挑戦する場面で、仲間とアドバイスし合いながら連続技のつなぎ技を学習することを通して、スムーズな連続技を構成することができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導 入	1. 準備 2. 準備運動 アップ	ア 早く準備しよう！ イ 1.2.3.4.5.6.7.8	※いつも通りにマットを準備するように促す。 ※手首や首を入念にストレッチする。 「ケガしないようにしっかりアップしてね」	10 分
	【学習問題】流れるように連続技をするにはどうすれば 良いか			
	3. 本時の内容 と、撮影につ いての仕方を 指導する。	ウ そんなにないよ！ エ できるかな オ 自分を確かめられるのは良いかも	※前時の復習をして、本時は 3.4 種類 の技を組み合わせて連続技を構成する ように伝える。 ※連続技では流れが大事であることを 改めて伝える。 ※撮影の際はただ全体的に撮るのでは なく、手の着く位置や足の位置、技のポ イントなど焦点化した撮影をするよう に促す。 【クロムブック】	3 分
	【学習課題】つなぎ技を工夫し連続技を構成しよう。			
展 開	4. 連続技の例 を实践しても らう。	キ はい！ ク なるほど！	「○○さんやってもらっても良い？」 ※前転→1/2 回転ジャンプ→後転、前転 →足交差→後転を実際に生徒にやっ てもらう。(連続技の例として) 「みんなもやってみよう！」	10 分
	5. 実践した例 を踏まえなが ら、各自で連 続技の構成を 考える。	ケ ちょっと難しいかも！ コ ここで交差させるのか！ サ 僕の前転撮ってもらっていい？ シ スムーズじゃないな～	「今やった技を使いながら、できる技を 3.4 種類組み合わせよう」 ※クロムブックを使い、アドバイスし合 いながら進めるよう促す。 ※うまくできている子を見つけて、後で みんなの前でやってもらうように伝え る。	12 分

	6.最後に上手な例をみんなの前で見せてもらう。	ス 上手！ セ スムーズだったよ！ ソ 足交差が上手にできてたね タ お～！ チ こういうつなぎ技もあるのか	「グループ内で一人一回発表しよう！」 ※グループの中で今日の成果を発表する。 【ワークシート、クロムブック】 「〇〇さんお願いしてもいい？」 ※演技を見てみての感想を言ってもらおう。 ※このようなスムーズな演目を目指すように伝える。 【本時の評価（評価する対象）】 仲間と協力しながら流れのある連続技を構成することができる。	3 分
終末	7. 片付け、まとめ、次時へのつながり	ツ はーい テ 倒立ブリッジやりたい！	※みんなで早く片付けるように促す。 ※各自感想を書いてもらう。 ※次の時間では、5.6 種類の連続技に挑戦すること、また、もっと練習してうまくなりたい技はあるかみんなに聞いてみる。	7 分